

第41回 発明大賞

受賞製品・技術のポイント

日本発明振興協会（東京都渋谷区、原昭邦会長、03・3464・6991）と日刊工業新聞社共催の「第41回（2015年度）発明大賞」に22件の発明が選ばれた。発明大賞は発明考案を通して産業の発展や国民生活の向上に寄与した資本金10億円以下の中堅・中小企業や個人、グループに贈られる。表彰式は15日に東京都港区の明治記念館で行う。

発明大賞 本賞



■植物の特性を利用した防草技術Ⅱ石川重規氏（個人）

植物が自ら成長を抑制

道路脇に雑草が生えるのを防ぐコンクリートブロック。植物の成長特性である「屈性」を利用し、植物が自ら成長を止める目地形状を開発した。従来技術のように光や水の遮断や農薬の散布などが必要ない。既存のコンクリート生産工程に、開発した目地形状の切りかけ部品を取り付けるだけで製造できる。

実証研究により、切りかけの下向き角度を90°40度、下向きの長さを30〜50mmの範囲で検証し、植物が自ら成長を抑制する上で効果的な形状を突き止めた。国土交通省の現場調査では、従来技術と比べ雑草の成長がなく、維持管理費が抑えられると評価されている。

（石川重規氏Ⅱ名古屋市長区、052・624・9374）

発明大賞

日刊工業新聞社賞



■傾斜クランクピンをもつ「R・Oセンサー」とメネジ加工Ⅱエムエイチセンタール（代表取締役・青山進氏ほか1人）

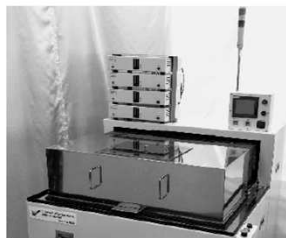
滑らかな公転軌道を実現

滑らかな公転軌道を実現
52・1
（エ）



発明大賞

日本発明振興協会会長賞



■超音波バリ取り洗浄装置ⅡフルースターI&D（会長・柴野佳英氏）

材質・形状選ばずバリ取り

金属やプラスチック、セラミックスを機械加工する際に生ずる不要部分（バリ）を超音波で除去する装置。4度〜8度Cと低い温度の洗浄水を利用し、洗浄で、超音波によるキャビテーション。



効果的
1シヨ
た。材
り取り
浄が不
一度に
うため
い。

発明大賞

東京都知事賞



■揚水用の地上設置型フート・バルブⅡインザキ（常務・右崎信之氏ほか1人）

地上設置、維持管理が容易

密閉性を向上させた弁体を利用し、落水を防ぐ性能（止水性）を高めたフート弁。地上に設置できたため、止水性が高いため、水中に設置する従来型ポンプの故障の要因である水の圧力に比べて維持管理が容易に落水を抑制し、常にポンプが。



を回し
代替
り（シ
ことで
る。ポ
力が抑
ムの前
がる。